

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 24 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2017 年 10 月 9 日(月)

試合時間：10:40～

主審：甲木 善徳

副審：松永 雄平

鹿屋体育大学	● 6 4	1 6	—1st—	2 5	○ 7 3	東海大学九州
		2 0	—2nd—	1 9		
		1 4	—3rd—	1 3		
		1 4	—4th—	1 6		

第 1 ピリオド

鹿体大 # 8 中山のミドルシュートで試合が始まる。東海大 # 6 山下、# 7 7 赤坂の連続 3 P シュートで点差を広げる。しかし、鹿体大 # 7 原、# 5 1 川口のみドルシュートで食らいつき、激しい攻防が続く。東海大は # 1 0 井上の 1 対 1 を中心に、パスを回し # 7 7 赤坂の連続 3 P シュートや # 1 0 井上の力強いプレーで点差を広げ 2 5 - 1 6 で第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

東海大は第 1 ピリオドの勢いのまま第 2 ピリオドが始まる。東海大は # 1 0 井上、# 7 7 赤坂の連続得点で点差を広げていく。中盤、鹿体大は流れを変えるためにタイムアウトを請求する。タイムアウト終了後、鹿体大は東海大 # 1 0 井上のプレーを徹底的に抑え東海大の勢いを止める。終盤、鹿体大は 1 対 1 を中心に得点を重ねて 4 4 - 3 6 で第 2 ピリオドを終える。

第 3 ピリオド

両チームとも激しい攻防により、思うように点を取ることが出来ない。鹿体大は流れを掴むためオールコートマンツーマンでプレッシャーを与えるが、東海大の素早いパス回しでうまく流れを掴むことが出来ない。東海大は点差を広げたいが、鹿体大のディフェンスに阻まれ 5 7 - 5 0 で第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

東海大の # 1 0 井上、# 6 山下の連続得点で点差を広げ最終ピリオドが始まる。東海大は # 1 0 井上の連続得点、鹿体大は # 5 井上、# 7 原の連続得点で両チーム点差を広げることも縮めることもできない状態が続く。終盤、鹿体大はオフェンスでうまくパスを繋ぐことができず、東海大にチャンスを与えてしまい自分たちのバスケットをすることができない。対して東海大は、最後まで # 1 0 井上のプレーを中心に自分たちのバスケットを続け 7 3 - 6 4 で東海大の勝利。